



# ハカルワカル広場だより

八王子市民放射能測定室

第 31 号

2019. 11. 25 発行

発行元 八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場  
〒192-0053 八王子市八幡町 5-11 八中ビル2F

HP <http://hachisoku.org> ① [hachisoku@gmail.com](mailto:hachisoku@gmail.com) ② 042-686-0820

郵便振替口座:00180-8-290904 八王子市民放射能測定室



## 廃炉を考える

元東芝原子力技術者 渡辺敦雄

### 1. 経緯

去る 10 月 5 日、ハカルワカル広場の茶話会で、11 月 10 日に予定の浜岡原発見学に寄せて話題提供を依頼された。その講演内容を寄稿する。

筆者は、1971 年に東芝に入社し、浜岡原発（以下浜岡と略記）1～3 号機の基本設計を担当した一人である。今回のテーマである浜岡の廃炉は、自分が設計した原発をいかに安全に終息させるかの、筆者にとって最後の仕事であり、この小論を契機として原発の安全安心な終息方法を読者の皆様と考える機会を共有できたらうれしい限りである。



### 2. 原発の恐ろしさ

エネルギー源の選択をする上で、地球市民の一員として、以下の観点を考慮しなければならない。

- ①安心できるか ②分散型で、地産地消に向いているか ③低二酸化炭素エネルギーか
- ④国際的に独立しているか ⑤再生可能か ⑥高効率か

この観点から、原発は絶対に選択できないことを以下に述べる。

原発は必ず事故を起こす。原子力は、他の、宇宙開発、海洋開発、医学などの巨大技術と比較し、以下の点で事故があった時の質と規模の次元が全く異なり、人類には制御不能な恐ろしいエネルギー源である。

- (1) 放射線障害は種の保存への障害（遺伝子損傷）であり、事故被害額も電力会社単独で責任が取れないほど膨大⇒実際に、放射線を使用して、人類に害をもたらす生物種の絶滅をした例もある
- (2) 使用済み核燃料の放射能の処理方法がない（プルトニウム 239 は 10 万年の管理が必要）

だが、原子力発電はたかが電気をおこすための技術であり、自然エネルギーという代替法がある。

従って、原発終息の根拠は、放射線被害に関し、他の害（「交通事故死亡率」や「たばこの発がん率」）と比較して科学的に議論ができないため、技術論争ではなく、「後世に負の遺産を残すか、残さないか」の倫理の問題である。

### 3. 廃炉と浜岡の廃炉工程の現状

- (1) 「廃炉」ではなく、「永久停止」を求める

福島第一原発事故のような事故後の対応は別として、通常運転停止後の廃炉は、

- ①原子炉停止⇒ ②使用済み燃料を安全に保管⇒ ③系統除染・汚染水保管⇒
- ④即時解体⇒ ⑤放射性廃棄物保管⇒ ⑥土地の再利用・復旧、という工程を踏む。

しかし、廃炉とは異なる、「永久停止」という方法がある。永久停止とは、原則的に施設は解体（上記④以降）せず、そのまま安全保管（例えばコンクリートで覆う）する手法である。この手法は、廃炉措置と比較して、以下の点で優れている。

- ① 放射性廃棄物の総量は、廃炉よりはるかに少なく、経済的
- ② 作業員や近傍住民への被ばく影響が少ない

#### (2) 浜岡の廃炉工程の現状

そもそも英国などでは、放射能の低減を待ち、100年停止して廃炉に入る工程が採用されている。100年待機の工程が望まれる中、日本では、停止した原発は直ちに廃炉措置を開始し40年ぐらいで終了と、なぜか廃炉を急いでいる。

浜岡1～2号機の廃炉措置は2009年に開始し、2036年に終了予定である。各段階10年程度で、全4段階ある。現在施設のすべての放射能濃度の検査（第1段階）を終了し、第2段階に入った。

現時点では、汚染度の低い、建物の外側の電気設備や空調設備の解体を終了し、いよいよ排気塔の撤去に取り掛かる予定である。

ただ、排気塔の解体・撤去は、放射性塵埃が多量に環境に放出される恐れがあり、作業員にも近隣住民にとっても、注意を要する。

#### (3) 廃炉費用

電力会社の発表では1基の廃炉費用は数百億円といわれている。東海原発の実績では、1000億円である。しかし、この費用見積りには、① 汚染物の廃棄場所 ② 地元への補償 ③ 原状回復、などの費用が含まれていないので、これを含入すると、6000億円にもなる、とのスイスの予測評価も報道されている。経費削減（すなわち電気料金の削減）の観点でも、廃炉より永久停止が望まれる。

### 4. 浜岡の今後

浜岡は、以下の理由で、世界の約400基の原発の中でも著しく危険性の高い原発である。よって、早急に永久停止をしなければならない。

- ① 30年以内に必ず発生する南海トラフ巨大地震の発生予測場所近傍にある
- ② 発電所の地下に複数の活断層がある（このため、原子炉が海側に配置）
- ③ 遠浅で、海水取水管が600mもあり、地震に弱い
- ④ 立地場所が日本の中心地にあり、事故時に、日本の基幹道路・鉄道・空路などの経済動脈の使用禁止による影響が計り知れない
- ⑤ 被害想定額は、日本の国家予算と等しい100兆円超、と予測できる

### 5. おわりに

福島第一原発事故は人類史上最悪の原発事故であった。ドイツは、2011年6月の段階で、2022年までに原発の全廃を決定した。その後スイス、イタリアなどが追随した。日本は当事者であるが、いまだ原発推進国である。日本の義務は「事故を2度と起こさない」こと。

「危機こそチャンス」である。自然エネルギー開発への先導者となって、結果的に世界の核兵器の廃絶につながるエネルギー大変換を遂げ、21世紀の世界モデルを創り、「原発永久停止」を50年後の孫たちへ誇れる最大の贈り物としよう。



## 第 4 回浜岡原発見学ツアーの報告

11月10日(日)、第4回浜岡原発見学ツアーを実施しました。参加者は27人(初めての方16人)。10月5日のお茶会「廃炉を学ぶ」の講師、渡辺敦雄さんも参加され、車中では浜岡原発についてのわかり易い解説もしていただきました。伊藤実・眞砂子ご夫妻の案内で、浜岡原子力館を見学したのち、5号機を海側から見学。また産廃焼却場予定地も訪れました。そのあとは現地で反対運動をされている伊藤さんご夫妻、増田さん、清水さん、佐倉さんとの交流会でした。御前崎市では産廃焼却場の計画が進んでおり、反対の住民が住民投票条例を要請。全住民の44%の署名を集め、条例が制定され、12月8日が住民投票とのことでした。産廃焼却場には浜岡原発の放射能汚染ごみはおろか、県外の汚染ごみも持ち込まれるのではないかと懸念も大きいようでした。原発立地を見学して初めてわかる立地の苦しみを実感して帰途につきました。以下、参加された方の感想です。



5号機を海側から見学



浜岡の皆さんと交流会

### 【浜岡原発見学ツアーへの感想、意見】

- \* ショックだったのは、原発にしても産廃施設にしても多くのお金が動いていて、お金によって議員も市民も影響されている事です。人間はそんなに弱いものでしょうか。
- \* バスの中からすぐ見える原発群に驚き、海岸に出れば取水口も見える・・とまたまた驚きました。原発だけでも大変なのに産廃も・・。今後の動きに注目していかなければと思いました。
- \* 初めての人も沢山いて、継続は力ですね。渡辺先生がついていて力強かった。何だかボンヤリしていたことや、難しいなと思っていたことを本当に分かりやすくお話ししていただきました。
- \* 浜岡で現実と闘っている方々のお話を聞いて励まされた思いでした。
- \* 渡辺先生の永久停止しかない結論づけるお話を聞いて良かった。海がきれいだった。
- \* 原発立地場所に行くのは初めてでした。参加して本当に良かったです。行きの車内で十分予習ができ、一日堪能できました。危険な原発の目の前に民家があることに驚きました。
- \* 有意義な学習会でした。御前崎で孤軍奮闘なされている方々に勇気と力をいただきました。運動を広めて行くことの大切さと同時に難しさも感じました。子孫の為にも頑張っていきたい。
- \* この社会の根っこのところからきている様々な問題の一つが原発なんだと痛感しました。
- \* 原発と産廃のつながりが交流会を通して分かった。原発マフィアが暗躍する様子が分かった。
- \* 原発の利権に群がる裏の人々のきたなさ、聞きしに勝ることを知りました。それと産廃がリンクし、原発は絶対に永久停止にするしかない強く思いました。
- \* 展望台の目の前に見える大きくて立派な鳥居が、原発マネーで建ったことを聞いてショックでした。どれだけ深く、地域の人々の心に土足で踏み入っているのかと。
- \* 取水口が5ヶ所、泳いで行けそうなところに並んでいるのに驚きました。

## 測定結果 (2019年8月~2019年10月)

ゼオライトの測定値は初期値引き算前 (Cs134の初期値は30Bq/kg程度)

検体	採取	県名	産地・採取地	検体重量 (g)	測定容器 (cc)	Cs137 (Bq/kg)	95%範囲 (±Bq/kg)	Cs134 (Bq/kg)	95%範囲 (±Bq/kg)	備考
落葉	2019.10.	東京都	八王子市北野	39	1000	382.0	±21.0	347.0	±04.0	誤検出
公園の土	2019.6.29	東京都	新宿区	339	1000	160.0	34.0	24.8	9.3	定点観測
公園の土	2019.9.23	埼玉県	東松山市	539	1000	145.0	30.0	24.1	7.1	定点観測
溝の土	2019.6.17	神奈川	横浜市緑区霧が丘	400	1000	143.0	30.0	25.1	3.6	土壌プロジェクト
ゼオライト	2019.5.20~9.1	神奈川	相模原市	1086	1000	113.0	23.0	42.3	9.2	相模原A
ゼオライト	2019.5.20~9.1	神奈川	相模原市	927	1000	110.0	22.0	45.3	10.0	相模原B
ゼオライト	2019.6.6~8.27	東京都	八王子市川口町	887	1000	95.3	19.9	43.6	9.9	川口町A
土(里山)	2019.10.21	東京都	八王子市中山	661	1000	94.1	19.8	22.2	6.2	
ゼオライト	2019.6.6~8.27	東京都	八王子市川口町	1121	1000	65.2	13.9	34.3	7.7	川口町B
土	2019.7.17	千葉県	成田市	1287	1000	61.7	12.9	20.2	4.9	
原木干しシイタケ	2019.10.1	静岡県	伊豆産	195	1000	60.0	16.7	15.7	以下	60分測定
ゼオライト	2019.10.28	静岡県	御前崎市	933	1000	58.8	13.3	46.9	10.4	御前崎A
ゼオライト	2019.8.19	静岡県	御前崎市	966	1000	52.7	11.9	38.9	8.8	御前崎A
アカモミタケ+アイシメジ	2018.9.15	山梨県	山梨県産	523	1000	52.6	12.2	7.4	以下	
ゼオライト	2019.10.28	静岡県	御前崎市	933	1000	49.2	11.4	39.9	9.1	御前崎B
土	2019.8.10	長野県	茅野市	169	1000	41.5	20.4	34.2	18.0	
ゼオライト	2019.8.19	静岡県	御前崎市	962	1000	36.1	8.9	38.6	8.8	御前崎B
ゼオライト	2019.6.6~8.27	東京都	八王子市川口町	1177	1000	35.8	8.4	33	7.4	川口町YC
ハナイグチ	2018.8.31	山梨県	山梨県産	655	1000	29.5	7.3	5.8	以下	
ゼオライト	2019.7.20~8.19	静岡県	御前崎市	1062	1000	23.8	6.5	36.0	8.1	御前崎D
土	2019.8.19	東京都	武蔵野市	1080	1000	19.4	4.9	3.5	以下	
ゼオライト	2019.7.20~8.19	静岡県	御前崎市	1089	1000	16.7	5.3	32.5	7.4	御前崎C
土	2019.8.20	静岡県	沼津市	1208	1000	16.7	4.4	10.4	3.1	
チャナメツムタケ	2018.9.15	山梨県	山梨県産	876	1000	13.1	4.1	4.3	以下	





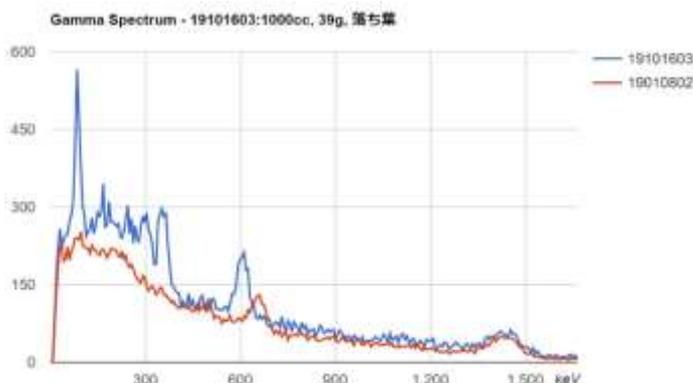
# ハカってワかった話

二宮 志郎

## まぎらわしい誤検出

今回の測定結果表、八王子北野の落ち葉が Cs137 が 382Bq/kg でびっくりするような高い数値なんですが、よくみると Cs134 が 347Bq/kg で、これは明らかに何か変だと気づきます。福島由来の Cs134 は事故後の年数を経て Cs137 に対する比率では 1/10 以下になっているはずなのに、ほぼ同じに近い値が出ています。最近に新しい事故でも起こっていない限りこういう数値はありえないので、この Cs134 は自然放射能の影響で大きく誤検出していることは明らかです。さらに検体重量に注目すると、なんとたったの 39g です。これではまともな測定値は期待するのは無理です。

ただ同じように、八王子北野の落ち葉で 89g という少ない検体量だった 2019 年 1 月 8 日の測定では、はっきりと Cs137 が検出されています。この両者の違いをスペクトルで見してみましょう。



下の赤線の方はピークが Cs137 の存在を示す 662keV 付近に来ていますが、青線の方はかなり左の方にずれています。青線の方がはっきり示しているのは Bi(ビスマス)214 の 609keV と Pb(鉛)214 の 352keV、295keV のピークです。青線の方には 662keV 付近のピークはほぼ見られず、Cs137 の存在は確認できないと見るべきでしょう。

## 落ち葉は新鮮な雨水で湿っていたのか？

Bi(ビスマス)214、Pb(鉛)214 は天然のラドンガスが崩壊してできてくるものですが、雨水に多少含まれています。それも数日で急激に減っていくので、新鮮な雨水でないと、あまり検出されません。

おそらく 10 月 16 日測定の落ち葉は新鮮な雨水で湿っていたのでしょう。そのせいで Bi214、Pb214 といった自然放射能が含まれて、それが出す放射線、特に Bi214 が出している 609keV のピークを誤検出して、それが 39g という少ない検体量だったせいで、誤り部分が拡大されて、結果的に大きな数字になってしまったようです。

## Cs134 は何故誤検出される？

Cs134 を示すピークは 605keV と 796keV に強く出てきます。605の方は Bi214 の 609 と近すぎて分離不可能ですから、Cs134 の見極めは 796keV の存在にかかってきます。

再びスペクトルに注目します。赤線、青線、いずれの方を見ても 796 あたりにピークらしきものは見当たりません。Cs134 はほとんどないということを示しています。「人間の目には明らかなのに何故測定器は誤った数値を示してしまうのか？」と疑問に思われるかもしれません。

ハカルワカル広場にある測定器には AI が搭載されているわけではなく、ある種の計算式から機械的に Cs134 の存在量を算出しているだけです。どうもその計算式のもっている癖のせいか、K(カリウム)40 の 1460keV が高くでて、スペクトル全体が底上げされたような形になった時には Cs134 が誤検出として出てくるようです。そのせいでゼオライトを測った時にはかならず Cs134 が誤検出されます。

## 人間が見てよく考える、それが必要

AI 搭載型測定器が出てきたら状況は変わるのかもしれませんが、今はまだまだ測定結果の数値を人間がよく吟味することが必要です。ポイントは「絶対ありえないような数値が出てきたらまず疑う」ということでしょう。いくら温暖化現象が顕著だとはいえ、家の温度計がいきなり 50 度を表示したら、みなさん「温度計が変」と疑うでしょう。それと同じことです。

AI 搭載型になったら？ 測定値に対する判断はかなり正確になるかもしれませんが、「その数値を見てどうするの」と考えるのはやっぱり人間でなければなりません。

## 9月7日 映画会「第八の戒律」の報告

ドイツ反原発ポスターに囲まれての上映となった「第八の戒律」は、「核分裂過程」の制作者が原子力産業の巨大な企みを暴こうと、5つの国、そして歴史に取材して作った作品です。1991年の作ですが、福島を経験した私たちはその内容に衝撃を受けました。繰り返される嘘、ごまかし、隠される被害……日本で起こっていることとそっくりではないですか。人類への攻撃ともいえるこの問題に、私たちはどう対抗してゆけばよいのか。映画の最後には、晩年の哲学者（ギュンター・アンダース）の、市民の非暴力の運動では推進派の暴力に太刀打ちできない、という意味の発言があり考えさせられました。上映後の意見交換会では、主にこの発言を巡って参加者から様々な意見が述べられました。

以下、その内容の一部をご紹介します。（以下敬称略）



### 上映後の意見交換会まとめ

**大木（配給元/小林大木企画）**：チェルノブイリ事故の二年後に「核分裂過程」を上映した。そしてヴァッカーズドルフの再処理工場が中止になった後も、監督たちが原子力の問題を追いかけていると知り、「第八の戒律」を上映することになった。

**氏家**：最後の哲学者の言葉が効いた。今の原子力の世紀末的な国家的暴力に対して、市民の非暴力のパフォーマンスでは役に立たないと。どうすればいいのか。自分もやっていてあまり意味を感じない。

**石井**：その哲学者、ギュンター・アンダース(1902-1992)の著書『核の脅威』が2016年に日本で出版された。世界的な反核運動の指導者だというのが日本ではあまり知られていないのか？

**小林（小林大木企画）**：ギュンター・アンダースは、1950年代に日本に原水禁の大会に来たことがあり、朝日新聞の一面に大きく紹介された。『ヒロシマわが罪と罰-原爆パイロットの苦悩の手紙-』は、広島に原爆を落とす編隊にいたパイロットの一人（クロード・イーザリー）とアンダースとの手紙のやり取りで読みやすい。イーザリーは機械＝機能として原爆を落とし英雄扱いされたが、人間として苦悩した。あと『橋の上の男』（アンダースが広島、長崎を訪れた時の旅日記）。著作には映画の中の発言との関連性は見つからないが、それぞれの中で何ができるか探していくしかないだろう。

**鵜飼**：映画の時代背景として、ヨーロッパではとくに、チェルノブイリがあって、これがもう一度あったら終わりだ、という感覚があったのでは。

**小林**：事故があって、隠されていたことがいろいろ出て来た。チェルノブイリの事故処理の場面など、1988年に見たとき非常に驚いた。この映画はそのときの危機感の中で作られた。

**鵜飼**：心に響いたのは、ドイツのヴァッカーズドルフの再処理工場を止めた人が、ドイツの村人は守れたけれど、そのせいでフランスの人が被曝すると言っていたこと。フランスとドイツの市民が一緒に反対運動をしていた。国や言語の違いを超えて、人間としての共通の思いで話している。原発

や放射能の問題は、国や民族を超えた問題。日本、韓国、中国も市民同士連帯できたらいいなと思った。

**キム (韓国人留学生)** : 私も人と人として話せたらいいと思う。政治家も電力会社も同じことをいう。福島も同じで歴史が繰り返す。それに気づいて、国際的な連携をしていれば繰り返されないかもしれないと思う。韓国の今の政府 (文政権) は反原発。でも韓国にも原子カムラのようなものがあり、いろいろな対立がまだある。

**花澤** : 日韓政府の軋轢があるなかで、オリンピックに関係して、韓国政府が日本に放射性物質の海洋放出を止めるように言ったとか、日本の食料品を輸入禁止にしたと報道されている。これは福島原発事故の直後からあったことで、お隣の国として当たり前の要求だろうと思うが、制裁のお返しみたいな形で報道されているのが理不尽でおかしいと思う。

**キム** : それも複雑な問題です。食品の中の放射能基準値は日本より韓国の方が高いです。政府は基準値を低くしないのに、どうして輸入には厳しいのか、政治的な問題と繋がっていると思う。国と国との関係を改善し、食品の基準値は低くして、政治的なことではなく、国民の健康をもっと大事にしてほしい。

**二宮** : 気になったのはラ・アーク周辺の取材で、話している内容がまるで今の福島のようなこと。原子力施設の近くに住むと、語れなくなってしまう。それが一番こわい状況だと思う。この映画を作った時点で、そうだった。政府が意図的に事実を捻じ曲げる報道をして、放射能を気にする人たちは放射能恐怖症だと決めつけるようなことが、ずっと前から、日本だけではなくてヨーロッパでもやられていた。わかっていることでさえまたやられてしまう、というのが非常に大きな問題と感じた。私たちはもっと知恵を働かせて、対抗手段を考えなければいけないのではないかな。

**西田** : 私にとっては暴力と非暴力のところが一番問題。あれは、暴力的なことをしろと言っているのではなくて、市民の非暴力の闘いに比べて、原子力推進側は、人の命や健康のことなど考えず、こんなにも暴力的なんだよと言いたいのかなと思った。そう考えないと、ハカルワカルの活動や金八デモを否定されているように感じる。

**二宮** : グリーンピースの人が海に潜って排水口を塞ごうとした。あれは暴力なのか、それとも一つの抵抗運動として許容される範囲なのか、そこを問われている気がした。私は個人的にはあれは一つの抵抗運動だと思う。もちろん、みんなが支持しなければ成り立たないが。原子力施設を止めるために排水口を塞ごうという民衆の合意があれば、それは一つの抵抗運動の範囲として認められるのではないかなと思う。ただ、今の日本でああいうことをやったら、多分絶対に認められない。

**氏家** : メディアが国家の側についている。国民を守ろうとしていない。

**鶉飼** : でも昔のドイツのメディアも酷かった。今のドイツがあるのは民衆が闘い続けて来たからではないかな。

**河村 (主婦連合会)** : 最近、マスコミ関係者と話した。この間の参議院選でも保守派が勝つ、政権が強い。でも山本太郎さんの闘いを見て、マスコミ人ももっと人々にわかりやすく届く伝え方があるのでは?と感じたという。『なぜリベラルは負け続けるのか』という本を紹介してくれた。内容は簡単にいうと、正義を振りかざすのではなく、お友達を作りましょうという本。勝つにはこれが大事。私は運動団体をやっていて、いろいろな連携運動を見て来たが、みごとに分裂していく。相手 (保守) 側は利権や得のため、結束が固い。市民団体は自分個人の得ではないことをやっているの、理念とか、小さな考え方の違いで分裂し、相手の思うツボになってしまう。あと、(映画の最後の哲学者の発言を受けて) 暴力を使って勝てるわけがない。民主国家なのだから、決定権をもつ人たちの選び方で変えられる。友達を作って、選挙で変えるしかない。共感できる人を増やし広げていくしかない。

**濱田 (たまあじさいの会)** : 福島以後のことをこの映画に繋げて作ったとしら、全敗、原子力の暴力が人間に勝ってしまったのではないかなと思った。彼らはメディアを総動員し、暴力的な力を使って押

さえつけて来た。福島がなかったらもっと酷いことになっていたと思う。続きを作り、福島後の政治家の発言も、名前を入れて残せばいい。自分は地元で活動を始め、裁判所に行ってはじめて裁判所が機能していないことを知った。三権分立を信じきっていた。今日の映画で重要なのは「間接民主主義」と言っていたことで日本も同じ。間接民主主義でどうやってひっくり返すか。ハカルワカルのヨウ素剤配布の要請はすごくヒントになった。原発が危険なものだと人に話すきっかけになる。それが投票につながるか。主権者につながるようなことをやらなきゃいけない。

**金子**：金八デモが昨日で 304 回目。自分がどういう気持ちでやっているかを話します。毎週やっていると思うのは、何か自分にできることで意思表示できなければだめだということ。効果があるかどうかはわからなくても自分たちの主張をずっと続けなければならない。現実辛いけど、続けることには意味があると自分に言い聞かせて。その時だけ声をあげるとか、探していて何もできないとか、そういうのはもうやりたくない。チェルノブイリの時に何もできなかった。JCO の時も。やっと福島で、自分の問題として考えた時に出会えた機会を大事にしたい。そう考えると一番の効果は自分にあるのだと思う。自分が崩れないために、支えとして一番の効果がある。あの哲学者の言葉は、本当に長い間闘って来た、ため息のように聞こえた。福島後だったらどう思ったか。福島の後、ドイツが倫理委員会を持って脱原発を決めた。そのときは何故倫理委員会なのかわからなかったが、ハカルワカルで「核分裂過程」や「第八の戒律」、ポスター展を見て理解が深まった。記録とか記憶が絶えず検証されていくために、こういうことが大事だと実感している。

**二宮**：今言ってもらったことはすごく心に響いた。自分をどうやって維持していくのか、やはり出発点としてそこが一番大事なのだろう。人に広げていくことは重要だけれど、その前に自分。福島のようなことがあると、わっと盛り上がるけどすぐにみんな退いていく。ハカルワカル広場がよく機能しているのは、ここに集まる人たちは、ここにあるから自分は続けられるという、何かそういうことにつながっていて、金八デモもそうだと思う。そういう場所を用意することは、基本のこととして重要なのだと改めて感じた。



## 北ドイツの反原発ポスター展の報告

8月29日～9月19日の3週間、北ドイツの反原発ポスター展をハカルワカル広場で開催しました。このポスターは、1970年代、北ドイツのゴアレーベンが核のゴミの廃棄場になることに反対した住民たちが大々的に反対運動を繰り広げ、それに共鳴したアーティストたちがゴアレーベンに移住し、描いたポスターです。20点のポスターは「僕たちに未来をください。原発はいらない」を始め、丁寧な筆致で描かれています。

「この運動の記録を管理するために、地元のNGOがゴアレーベン・アーカイブ(Gorleben Archiv) (注)を立ち上げ、反原発運動の記録を保存、管理しています」(主婦連合会ブログサイトより)

ゴアレーベンではこのような反原発運動の長い歴史があり、人々が様々な知恵を絞り、具体的な方法もポスターに書かれています。(例:困ったときに連絡する電話番号などまで!)

福島原発事故に衝撃を受けたゴアレーベンの人たちは、「日本の人にもこの運動の輪を広げてほしい」と主婦連合会に寄贈したとのこと。

福島事故の3か月後に脱原発を決めたドイツ。しかし、ここに展示したポスターにも見られるように、その前に長い反原発の歴史があったのだと思い知らされます。諦めない、粘り強い運動が脱原発を実現するには必要なことを私たちに教えてくれたポスター展でした。次ページは、29名の方のアンケート集計結果です。

注) ゴアレーベン・アーカイブ(Gorleben Archiv) ホームページ <http://gorleben-archiv.de/wordpress/>

ドイツ語だけのホームページですが、写真がたくさんあり、素敵な雰囲気が伝わるのでぜひ見てみてください。



## アンケート集計結果

反原発、核兵器廃絶についてのお考えをお書きください。

- \* 不安材料としてあるので他のエネルギーに変えてほしい。
- \* 目的が大量破壊である上に、環境を長期に渡り汚染し、生き物を蝕む核兵器と、その原料であるプルトニウムを作り出す原発に絶対反対です。両方とも無くす努力が必要だと思えます。
- \* 原発は自分たち(人間)の生活には絶対にそぐわない。核兵器もいらない。
- \* 原発に無関心な人達に対してデモ行進中に「〇〇反対」のシュプレヒコールだけでなく彼らにハット気付くような言葉を付け加えると良いのではと日頃思っています。
- \* 広島・長崎を経験したのに核廃絶、脱原発からこの国は遅れています。
- \* ドイツの脱原発には長い歴史と人々の諦めない運動があったのですね。理想を持ち続けること、諦めないことが大切ですね。
- \* 福島原発事故を経験した日本において原発を廃止することは、核兵器を廃絶することと同様に、倫理的にも当然の帰結だと思う。
- \* 核兵器禁止条約が大きな力になると思います。いよいよ核兵器が悪魔のレッテルを貼られる時代に。
- \* 被爆国なのに核開発国の仲間に入っている日本はおかしい。

ご意見・ご感想などございましたら自由にお書き下さい。

- \* 原発NOを国で表明しているドイツに日本も続いて行くようにこうした機会がもっとあれば良いなと思います。
- \* ドイツのポスターの内容が具体的なのに驚きました。核廃棄物処分場建設のための地質調査を断る方法から、困ったときの連絡先の電話番号まで書いてあり、具体的に行動するための手助けになりました。
- \* いつもここへ来ると気持ちが強くなれます。長く原発反対の気持ちを持ち続けられる力をもらえる場所だと思います。
- \* ドイツでの考え方が日本または韓国までつながってほしいと思いました。
- \* ドイツの人達がユーモアを含めて、粘り強く市民運動を続けてこられたことがよくわかりました。
- \* こういう活動をしていることを知らない人達がいます。微力ですが職場の人や近隣にも声をかけていきたいと思えます。「原子力はいりません！」次の世代の人達に負の遺産を残してはなりませんよね。



原子力? おことわり



好評だったポスター



**\* 8月29日～9月19日 北ドイツ反原発ポスター展**

北ドイツの反原発の中心となったゴアレーベンのNGOが福島原発事故に心を寄せ、自らのポスターのアーカイブを主婦連合会に寄付。それを主婦連合会のご厚意でお借りし、上記の3週間ハカルワカル広場で展示しました。展示会は初めての経験で、ポスターを壁に吊すフックもスタッフの手作り！ハカルワカルの壁いっぱいには20点のポスターが展示され、ギャラリーに変身。見に来ていただいた方には、ドイツの反原発の歴史とその息吹を感じ取っていただけたと思います。アンケートはP.8～9に掲載。  
(来場者29名)

**\* 9月7日(土) 第22回ハカルワカル映画会「第八の戒律」上映**

以前ハカルワカル映画会で好評を博した「核分裂過程」の続編で、再処理工場の建設を止めることに成功したヴァッカーズドルフのその後を描きながら、原子力開発の50年を俯瞰する・・・この映画は数多くの問題提起をしているので、上映後参加者で「意見交換会」を行った。その詳細についてはP.6に掲載。小林・大木企画の配給で、お二人も自ら機材を運んで参加くださった。(参加者23名)

**\* 10月5日(土) 定例お茶会「廃炉を学ぶ」**

講師に元東芝で浜岡原発の基本設計を担当された渡辺敦雄さんをお迎えし、「廃炉を学ぶ」と題する講演会を実施。大変わかりやすいお話しぶりで、「廃炉」でなく「永久停止」がよいとの提案であった。詳しくは巻頭の講演内容寄稿を参照。(参加者34名)

**\* 11月10日(日) 浜岡原発見学ツアー実施**

車中の学習会講師は渡辺敦雄さん、現地案内は伊藤実・眞砂子夫妻。浜岡原発見学後、現地で反対運動をされている方々と交流会実施。なお、御前崎市で問題となっている産廃場予定地も見学。詳しくはP.3の「浜岡原発見学ツアーの報告」を参照ください。(参加者27名)

**これからの予定**

- \* 12月7日(土) 定例お茶会 浜岡ツアー報告&第23回映画会「ジャビルカ」上映
- \* 1月11日(土) 新年会(会員交流会)10時～ ハカルワカル広場にて
- \* 1月19日(日) 第5福竜丸展示館見学会…有志で見学します
- \* 2月1日(土) 定例お茶会「ビキニ事件を振り返る」
- \* 3月1日(日) 第24回ハカルワカル映画会「太陽が落ちた日」、映画会&トークセッション  
詳しくは同封のチラシをご覧ください。
- \* 冬季閉室・・・12月22日(日)～1月8日(水)、大掃除・・・12月21日(土)
- \* 誠に勝手ながら年賀状による年始のご挨拶を控えさせていただくこととなりました。ご了承下さい。

**お知らせ**

**第24回ハカルワカル広場映画会「太陽が落ちた日」**  
**広島と福島をつなぐ反核を人の生き方で描く**  
 「特に日本で多くの人に見て欲しい。」

意識が変わらないと何も変わらない。」

映画会&トークセッション「広島・ビキニ・福島を考える」

とき：2020年3月1日(日) 上映13:30

場所：北野市民センター8階ホール

前売り券：800円 当日券：1000円 先着順

チケットの申込：電話、メールでハカルワカル広場へ

ハカルワカル広場は維持会員の会費とボランティアで運営されています。

八王子市民放射能測定室  
**ハカルワカル広場**  
 〒192-0053 東京都八王子市八幡町5-11 八中ビル2F  
 お電話 問合せ **042-686-0820**  
 HP: <http://hachisoku.org> メール: [hachisoku@gmail.com](mailto:hachisoku@gmail.com)  
 【開室】火～金曜日:10時～15時、土曜日:10時～12時

**ボランティア、維持会員募集中!**  
 お問い合わせはハカルワカル広場まで  
 寄付も大歓迎です! ゆうちょ銀行 00180-8-290904(八王子市民放射能測定室)  
 他行からの振り込みは 018-0224460(八王子市民放射能測定室)